

## 選択評価事項C「教育の国際化の状況」に係る 評価方法及び評価結果の表示方法（案）

※以下、『評価実施手引書』（改訂案）より抜粋。

赤字部分については、選択評価事項C「教育の国際化の状況」に係る変更箇所。

### Ⅲ 事項ごとの評価

事項の自己評価結果の分析は、次に示す「観点の確認」、「観点ごとの分析・判断」及び「事項の評価」（目的の達成状況の判断、並びに「優れた点」、「更なる向上が期待される点」及び「改善を要する点」の抽出）の流れで行います。

#### (1) 観点の確認

(略)

#### (2) 観点ごとの分析・判断

① 自己評価書には、観点ごとに「観点に係る状況」、「分析結果とその根拠理由」が記述されています。評価担当者は、観点ごとに、取組や活動の内容等がどのような状況であるのか、自己評価書の根拠となる資料・データ等で確認しつつ分析を行います。

なお、各観点に関して、対象大学がその目的を達成するための具体的な目標や計画を有している場合には、評価に目標等の達成状況を反映させていることも想定されますので、対象大学の個性や特色を考慮し、根拠となる資料・データ等で確認しつつ分析を行います。

・・・・・・・・(略)・・・・・・・・

また、選択評価事項C「教育の国際化の状況」の「観点ごとの分析・判断」に当たっては、「国際的な教育環境の構築」、「外国人学生の受入」、「国内学生の海外派遣」の視点から、それぞれの活動状況の分析を行います。

② ①の分析結果に基づき、当該観点に係る状況を、対象大学の目的を踏まえつつ、当該観点到ふさわしい判断方法を用いて判断します。

その際、対象大学の状況から、以下のような判断を示す記述の例示を参考にしつつ、判断します。

対象大学の状況	目的を踏まえ 期待される水準を上回る	目的を踏まえ 期待される水準である	目的を踏まえ 期待される水準を下回る
判断を示す記述の例示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標を十分に達成している</li> <li>・ 優れた取組を実施している</li> <li>・ 明確に定めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標を達成している</li> <li>・ 実施している</li> <li>・ 定めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標をおおむね達成している</li> <li>・ 実施していない</li> <li>・ 定めていない</li> </ul>

・・・・・・・・(略)・・・・・・・・

③ (略)

④ (略)

### (3) 事項の評価

- ① 選択評価事項に係る目的に照らして、「観点ごとの分析・判断」の結果を総合した上で、4段階で判断します。その際、以下の「判断の際の考え方」を目安に、「判断を示す記述」を用いて、目的の達成状況の判断を行います。

判断を示す記述	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に大きな問題があり、目的に照らして達成状況が不十分であると判断される場合

なお、選択評価事項C「教育の国際化の状況」の評価においては、「国際的な教育環境の構築」、「外国人学生の受入（学士課程／大学院課程）」、「国内学生の海外派遣（学士課程／大学院課程）」の各項目の水準について、以下の4段階で評価します。

判断を示す記述
一般的な水準から卓越している
一般的な水準を上回る
一般的な水準である
一般的な水準を下回る

(評価結果が「一般的な水準から卓越している」、「一般的な水準を上回る」とされた場合は、その旨を記載します。)

※ ( ) 内は、「第4章 評価結果(原案)の作成」にその旨を記載。

- ② (略)

- ③ 「優れた点」、「更なる向上が期待される点」及び「改善を要する点」の抽出事項ごとに、前記(2)「観点ごとの分析・判断」から、対象大学の目的に照らして、特に重要と思われる点を「優れた点」、「更なる向上が期待される点」及び「改善を要する点」として抽出します。

なお、「優れた点」、「更なる向上が期待される点」及び「改善を要する点」を抽出する際、以下の考え方を参考にします。

<p>優れた点</p>	<p>1) 選択評価事項に関わる目的に照らして、優れていると判断されるもの。  2) 選択評価事項に関わる目的に照らして、特色ある、又は個性ある取組であり、成果が上がっていると判断されるもの。  3) 選択評価事項に関する大学の活動の改善に向けて先進的な取組であり、成果が上がっていると判断されるもの。  4) 大学一般に期待される水準から見て、優れていると判断されるもの。</p>
<p>更なる向上が期待される点</p>	<p>1) 選択評価事項に関わる目的に照らして、優れた達成状況に向けた取組であり、ある程度の成果が上がっていると判断されるもの。  2) 選択評価事項に関わる目的に照らして、特色ある、又は個性ある取組であり、近い将来、成果が期待できると判断されるもの。</p>
<p>改善を要する点</p>	<p>1) 選択評価事項に関わる目的に照らして、改善が必要と判断されるもの。  2) 大学一般に期待される水準から見て、改善が必要と判断されるもの。</p>

I 選択評価事項に係る評価結果

〇〇大学は、「選択評価事項C 教育の国際化の状況」において、目的の達成状況が〇〇〇〇（極めて良好である）。

「外国人学生の受入（学士課程）」については□□□□（一般的な水準から卓越しており）、また、「国際的な教育環境の構築」については△△△△（一般的な水準を上回る）。

当該選択評価事項Cにおける主な優れた点として～が挙げられる。

- 外国人学生の受入については、.....

当該選択評価事項Cにおける主な更なる向上が期待される点として～が挙げられる。

- .....

当該選択評価事項Cにおける主な改善を要する点として～が挙げられる。

- .....

## II 選択評価事項の評価

### 選択評価事項C 教育の国際化の状況

C-1 大学の目的に照らして、教育の国際化に向けた活動が適切に行われ、成果を上げていること。

#### 【評価結果】

目的の達成状況が〇〇〇〇（極めて良好である）。

「外国人学生の受入（学士課程）」については□□□□（一般的な水準から卓越しており）、また、「国際的な教育環境の構築」については△△△△（一般的な水準を上回る）。

#### （評価結果の根拠・理由）

C-1-① 大学の教育の国際化の目的に照らして、目的を達成するためにふさわしい計画や具体的方針が定められているか。また、これらの目的と計画が広く公表されているか。

.....

これらのことから、△△△△と判断する。

C-1-② 計画に基づいた活動が適切に実施されているか。

国際的な教育環境の構築については、.....するなど▽▽▽▽（良好な活動を実施している）。

外国人学生の受入については、.....するなど◇◇◇◇（優れた活動を展開している）。

これらのことから、△△△△と判断する。

C-1-③ 活動の実績及び学生の満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。

外国人学生の受入については、.....されており◇◇◇◇（優れた成果を上げている）。

これらのことから、△△△△と判断する。

C-1-④ 改善のための取組が行われているか。

これらのことから、△△△△と判断する。

以上の内容を総合し、「目的の達成状況が〇〇〇〇〇」と判断する。

〇〇大学

**【優れた点】**

- 外国人学生の受入については、.....

**【更なる向上が期待される点】**

- .....

**【改善を要する点】**

- .....